

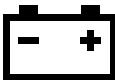
## もしものときの処置

警告灯が点灯または点滅したときは！	13- 2
こんな音が聞こえたときは！	13- 4
こんなことでお困りのときは！	13- 5
故障したときは！	13- 8
発炎筒を使うときは！	13- 9
工具とジャッキ、ジャッキハンドル	13- 9
ジャッキアップのしかた	13- 12
スペアタイヤ	13- 14
タイヤ交換のしかた	13- 17
バッテリー上がりのときは！	13- 21
オーバーヒートしたときは！	13- 24
けん引	13- 26
バッテリー交換後にエンジン回転数が不安定になったときは！	13- 28
ヒューズが切れたときは！	13- 29
バルブ(電球)が切れたときは！	13- 32

## 警告灯が点灯または点滅したときは！

J01400100065

ただちに安全な場所に停車し、最寄りの日産販売会社へ連絡してください。

	充電警告灯	P. 6-9
---	-------	--------

安全な場所に停車し、まずお車を点検してください。点検後も消灯しないときは、最寄りの日産販売会社へ連絡してください。

	ブレーキ警告灯	P. 6-8
	油圧警告灯	P. 6-9
	高水温警告灯	P. 6-10

13

安全な場所に停車し、エンジンを停止してください。

再度エンジンをかけ、その後しばらく走行しても点灯または点滅しなければ異常ありません。

消灯しないときやたびたび点灯または点滅するときは、できるだけ早く日産販売会社で点検を受けてください。

	ABS警告灯	P. 7-23
---	--------	---------

すぐに停車する必要はありませんが、できるだけ早く日産販売会社で点検を受けてください。

	SRSエアバッグ ／前席プリテン ショナー警告灯	P. 5-24
	エンジン警告灯	P. 6-9
	ATシフトポジ ションインジ ケーター (点滅) (4速オートマ チック車)	P. 7-12

参照ページをお読みになり処置してください。

	シートベルト 警告灯	P. 5-14
	半ドア警告灯	P. 6-10
	燃料残量警告灯	P. 6-5

## こんな音が聞こえたときは!

J01400200285

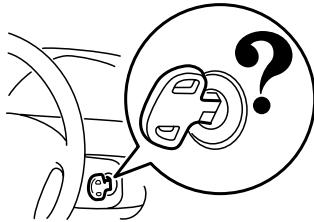


AAJ000837

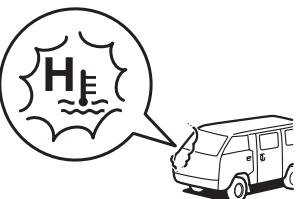
現象	処置
運転席ドアを開けたら断続的に音(ピピッ, ピピッ)がする。	「キー抜き忘れ防止機構」→ P. 4-6 キーを抜き忘れています。 エンジンスイッチからキーを抜くと, ブザーは止まります。
運転席ドアを開けたら音(ピー)がする。	「ヘッドランプオートカット機能(自動消灯)」 → P. 6-11  ライト類を消し忘れています。 ライト類が自動的に消灯し, ブザーは止まります。 (ただし, ライトスイッチをいったん ● (OFF)位置から ● (ON)位置にするとライトは自動消灯せず, ドアを閉じるまでブザーは鳴り続けます。)
車を後退しようとしたら, 断続的に音(ピーピー)がする。	「セレクトレバーの位置・働き」→ P. 7-13  セレクトレバーが ● (R) に入っています。 後退後, セレクトレバーの位置を変えればブザーは止まります。

## こんなことでお困りのときは!

J01400301759

現象	処置
水たまりに入ったあとにブレーキの効きが悪い。	前後の車や道路状況に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み、ブレーキを乾かしてください。 「雨天時や水たまりを走行するときは」→ P. 2-10
走行中にエンストした。	通常よりブレーキペダルを強く踏み続けてください。 「万一、走行中にエンストしたときは」→ P. 2-12
キーが回らない。 	<b>LOCKからACCに回らない</b> ハンドルを軽く左右に動かしながらキーを回してください。 <b>ACCからLOCKに回らない</b> 〔オートマチック車〕 セレクトレバーがPに入っているか確認してください。 〔マニュアル車〕 ACCの位置でキーを押しながら、LOCKまで回してください。 「キーを抜くときは」→ P. 7-7
セレクトレバーがPから動かない。(オートマチック車)	ブレーキペダルを踏んでからセレクトレバーを操作してください。 エンジンスイッチがONになっているか確認してください。 「セレクトレバーの動かし方」→ P. 7-11
雨の日、湿気の多い日などに窓が曇る。 	外気導入になっているか確認してください。 エアコンを入れると効果的です。 「ウインドウガラスの曇り、霜を取りたいときは」→ P. 9-8

## もしものときの処置

現象	処置
パンクした。 	1. あわてずに、ハンドルをしっかり持ち、安全な場所に車を停止します。 2. スペアタイヤに交換します。 「タイヤ交換のしかた」→ P. 13-17
エンジンがかからない。 ライトが点灯しない、暗い。 ホーンが鳴らない、音が小さい。	バッテリー上がりが考えられます。 「バッテリー上がりのときは!」→ P. 13-21
高水温警告灯が点灯していたり、エンジンの出力が急に低下する。 エンジンルームから蒸気が出ている。 	オーバーヒートが考えられます。 「オーバーヒートしたときは!」→ P. 13-24

現象	処置
タイヤがスリップして発進できない。 (ぬかるみ, 雪道, 凍結路などの発進時)	<ol style="list-style-type: none"> <li>毛布か布などがあるときは, それをスリップしているタイヤの前に差し入れて滑り止めにします。そして, ゆっくりとアクセルペダルを踏んで発進してください。</li> <li>何も滑り止めにするものがないときは, 前後進をくり返して車の反動を利用して脱出します。</li> <li>タイヤが空回りして車が動かないときは, アクセルペダルを軽く踏み, パーキングブレーキを軽く引いたまま脱出します。</li> </ol>

### △注意

- 車の反動を利用して脱出するときは, 車の周囲に人がいないことを確認してから行ってください。
- ぬかるみなどにはまつときは, むやみにタイヤを空転させないでください。タイヤがもぐり込み, かえって脱出しにくくなります。また, エンジンの高回転を続けるとオーバーヒートやトランスマッisionの故障につながるおそれがあります。数回試して脱出できないときは, 専門業者に依頼してください。

現象	処置
オートマチックトランスマッisionが变速しない。 発進時の出足が鈍い。	<p>オートマチックトランスマッisionに異常が発生し, 安全装置が働いていると考えられます。</p> <p>そのままお近くの日産販売会社まで運転し, 点検を受けてください。</p> <p>発進しにくいときは❷に入れて発進し, そのあとは❶に戻して走行してください。</p> <p>故障の内容によってはこの方法でも効果がないときもあります。</p>

### 故障したときは！

J01400400724

故障して動けなくなったときは、同乗者または付近の人に応援を求める、安全な場所まで車を押して移動します。このとき、シフトレバー（セレクトレバー）を❶に入れてください。

### 踏切内で動けなくなったときは

踏切内で脱輪やエンストなどで、すぐに車を動かせないときは、すみやかに同乗者を避難させ、踏切の非常ボタンを押します。

#### △注意

- 電車が近づいているときや、緊急を要するときは、発炎筒で合図してください。

#### アドバイス

- 停止表示板（停止表示灯）は標準装備されておりません。日産販売会社などでお買い求めください。

#### 修理の連絡先

別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。

#### アドバイス

- マニュアル車、オートマチック車ともエンジンスイッチをSTARTの位置で保持して緊急避難的に車を動かすことはできません。

### 一般道路での故障表示

追突などの事故を防ぐため、車を路肩に寄せ、非常点滅灯を点滅させるか、停止表示板（停止表示灯）などで故障表示します。

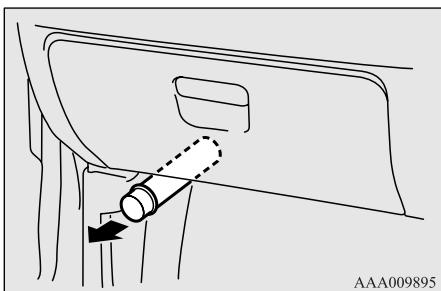
## 発炎筒を使うときは！

J01400500132

発炎筒は、高速道路や踏切などで故障したときに使用します。

使用したときや期限切れのときは、日産販売会社などでお買い求めください。

発炎筒は、グローブボックスの左下部に備えつけてあります。



## 工具とジャッキ、ジャッキハンドル

J01400600742

### △注意

- ジャッキは、タイヤ交換とタイヤチェーンの取り付け以外の目的には使用しないでください。また、車載以外のジャッキは、使用しないでください。
- 車両に搭載されているジャッキは、お客様のお車専用です。他の車両に使用したり、他の車両のジャッキをお客様のお車に使用しないでください。車両を損傷したり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### アドバイス

- 工具の種類、ジャッキの使い方は、万一のとき困らないようあらかじめ確認しておきましょう。

### △警告

- お子さまには、発炎筒をいじらせないでください。
- 人の顔や体に向けて絶対に使用しないでください。やけどをするおそれがあります。
- ガソリンなど燃えやすいものの近くでは使用しないでください。  
火災をまねくおそれがあります。
- トンネル内では使用しないでください。煙により視界が悪くなり、重大な事故につながるおそれがあります。非常点滅灯など他の方法を用いてください。

### アドバイス

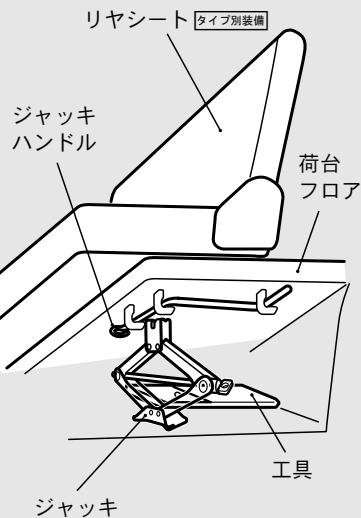
- 使い方は発炎筒に記載されています。あらかじめよく読んでおいてください。
- 発炎時間は約5分です。非常点滅灯など他の方法を併用してください。  
→「非常点滅灯スイッチ」P.6-14
- 発炎筒には有効期限（発炎筒に記載）があります。

## もしものときの処置

### 格納場所

J01405800198

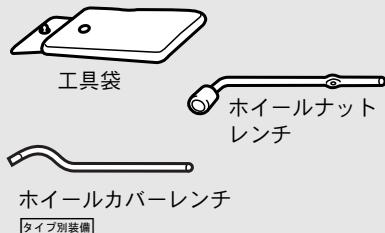
荷台フロアの下部に格納されています。



AAE000412

### 工具の種類

J01404300112



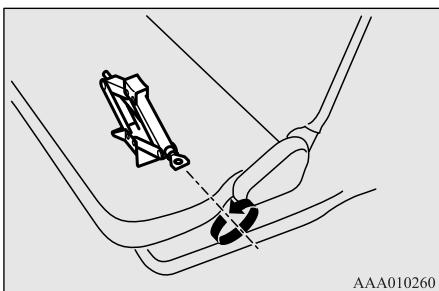
AAA017360

### 工具とジャッキ、ジャッキハンドルの脱着

J01404200759

#### ◆ 取り出すときは

1. ジャッキを縮めて取り出します。

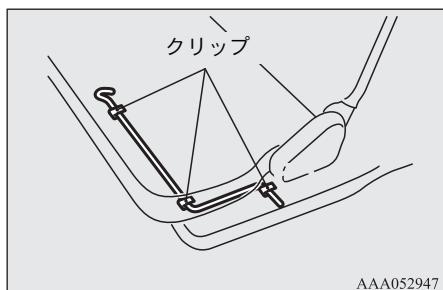


AAA010260

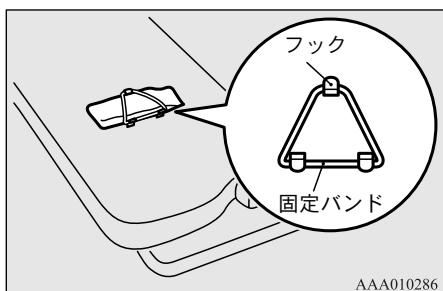
#### △ 注意

- 工具やジャッキを使用したあとは、元の位置に確実に格納してください。室内などに放置すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

2. 床下に格納されているジャッキハンドルをクリップから取り出します。



3. 工具は固定バンドを外して取り出します。



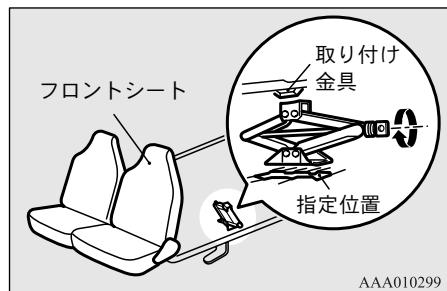
## ◆ 格納するときは

工具、ジャッキハンドル、ジャッキの順で元の位置に格納します。

ジャッキを格納するときは、つぎの位置にジャッキを合わせて固定します。

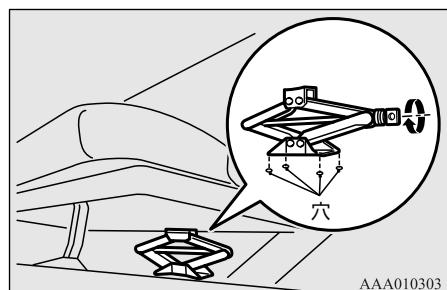
### 除く、リヤシート付き車

フロア下の指定位置にジャッキを置き、ジャッキを伸ばして取り付け金具に固定します。



### リヤシート付き車

フロアマットの4つの穴にジャッキの位置を合わせてから、ジャッキを伸ばして固定します。



### アドバイス

- ジャッキを格納したあとは、ジャッキが確実に固定されていることを確かめてください。

## ジャッキアップのしかた

J01400701476

### △警告

- ジャッキアップしたら車の下には絶対にもぐらないでください。万一、ジャッキが外れたとき、重大な傷害を受けるおそれがあります。

### △注意

- ジャッキアップするときは安全のため、つぎのことを必ず守ってください。万一の場合、ジャッキが外れ思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・エンジンをかけたままにしない。
- ・人や荷物を乗せたままにしない。
- ・地面が平坦で固い場所以外では使用しない。
- ・凍結した路面では使用しない。
- ・ジャッキの上や下に物をはさまない。
- ・ジャッキアップ中に車をゆすらない。
- ・ジャッキアップしたタイヤを回転させない。
- ・ジャッキアップしたまま放置しない。

## ジャッキアップするときは

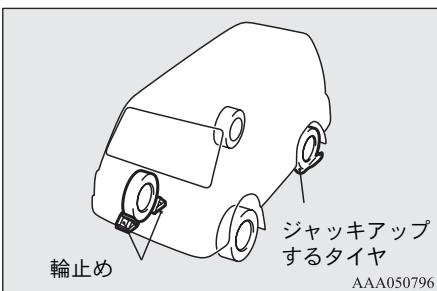
1. 交通のじゃまにならず、安全に作業できる平らで硬い場所に車を止めます。
2. パーキングブレーキを確実にかけます。
3. マニュアル車はエンジンを止めて、シフトレバーをRに入れます。  
オートマチック車はセレクトレバーをPに入れて、エンジンを止めます。

4. 必要に応じて非常点滅灯を点滅させ、人や荷物を車から降ろし、停止表示板（停止表示灯）を車両後方に置きます。

### △アドバイス

- 停止表示板（停止表示灯）、輪止めは標準で搭載されておりませんので必要に応じて準備してください。

5. ジャッキアップするタイヤと対角の位置にあるタイヤの前後に輪止めをします。



### △注意

- ジャッキアップするときは、必ず輪止めを使用してください。  
万一、ジャッキアップ中に車両が動いたとき、ジャッキが外れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

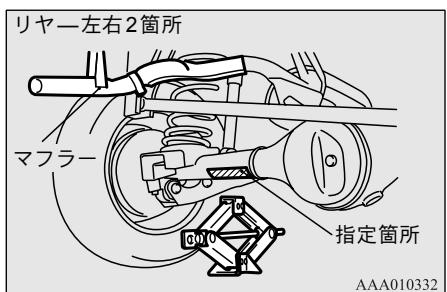
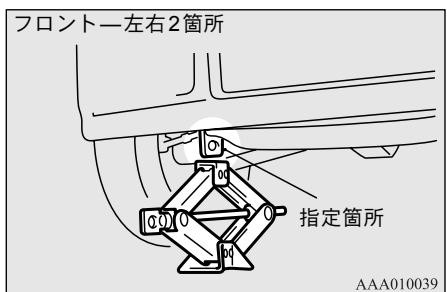
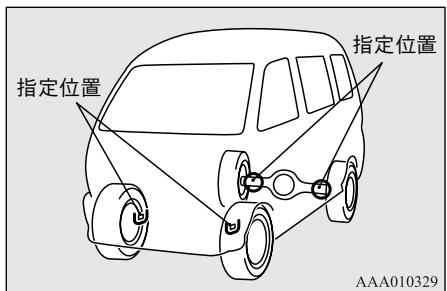
### △アドバイス

- 輪止めがないときは、タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

6. ジャッキとジャッキハンドルを取り出します。  
→「工具とジャッキ、ジャッキハンドルの脱着」P. 13-10

7. ジャッキアップするタイヤに近い指定位置にジャッキをセットします。

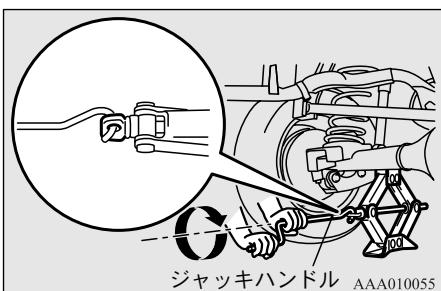
### 指定位置



**△警告**

- ジャッキをセットするときは、指定された位置以外にかけないでください。指定された位置以外にかけると、車体がへこんだり、ジャッキが倒れて、重大な傷害を受けるおそれがあります。

8. ジャッキ頭部がジャッキ指定位置に当たる直前まで、ジャッキを手で右に回して上げます。
9. ジャッキハンドルを使用してジャッキを伸ばし、タイヤが地面から少し浮くまで静かにジャッキハンドルを回します。



**△注意**

- 地面からタイヤが少し離れた高さ以上にジャッキアップしないでください。必要以上にジャッキアップすると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### 降ろすときは

1. ジャッキ頭部がジャッキ指定位置から外れるまで、静かにジャッキハンドルを回します。
2. ジャッキを左に回して縮めます。
3. ジャッキとジャッキハンドルを元の位置に戻します。→「工具とジャッキ、ジャッキハンドル」P. 13-9

**△注意**

- マフラーが熱いことがありますのでやけどしないように作業してください。

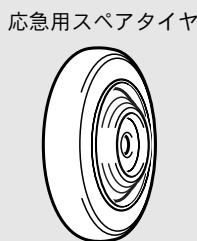
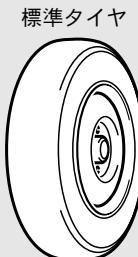
## スペアタイヤ

J01400800975

### 応急用スペアタイヤ

タイヤがパンクしたとき、パンク修理するまでの応急用として、一時的に使用するタイヤです。できるだけ早く標準タイヤに交換してください。

応急用スペアタイヤは、図のように標準タイヤに比べて直径がいくぶん小さくなっています。



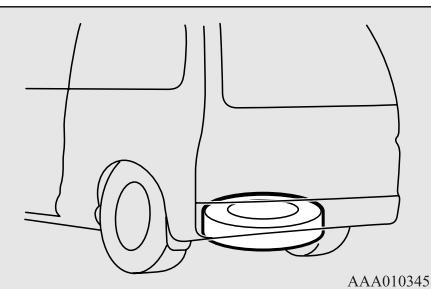
AAA005914

### △注意

- 空気圧は、定期的に点検してください。空気圧が不足している状態で走行すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。空気圧が不足しているときは、最寄りの日産販売会社またはガソリンスタンドまで控えめな速度で走行し、指定の空気圧に調整してください。  
→「タイヤの空気圧」P. 14-9
- 4WD車に応急用スペアタイヤを装着したときは、4WDの状態で走行しないでください。駆動系部品を損傷するおそれがあります。

### 格納場所

スペアタイヤは、荷台床下部に格納されています。



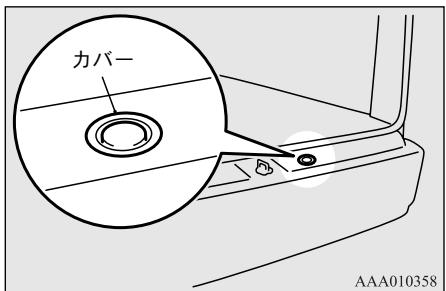
AAA010345

### △注意

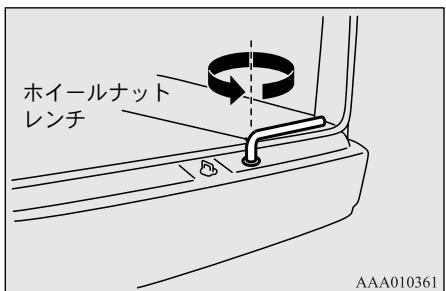
- ホルダーからタイヤキャリアを外すとき、またはかけるときは、キャリアを足の上などに落とさないよう確実にタイヤキャリアを持って行ってください。
- 応急用スペアタイヤを装着したときは、80km/h以下のスピードで走行してください。
- 応急用スペアタイヤは、標準タイヤに比べて直径が小さくなります。標準タイヤ装着時と同じ感覚で運転しないよう注意してください。特に車高が少し低くなりますので、突起物などを乗り越えるときは十分注意してください。
- 応急用スペアタイヤにタイヤチェーンは装着できません。後輪がパンクしたときは、前輪を後輪に取り付けてからチェーンを装着してください。
- この応急用スペアタイヤとホイールはお客様のお車専用です。他のタイヤやホイールと組みあわせたり、お客様のお車以外に使用しないでください。

## 取り出すときは

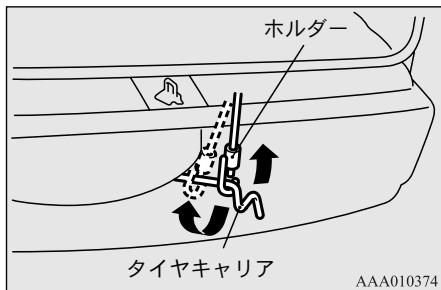
1. ホイールナットレンチを取り出します。  
→「格納場所」P. 13-10
2. パックドアを開きカバーを取り外します。



3. ホイールナットレンチを使用して、タイヤキャリア取り付けボルトをゆるめます。

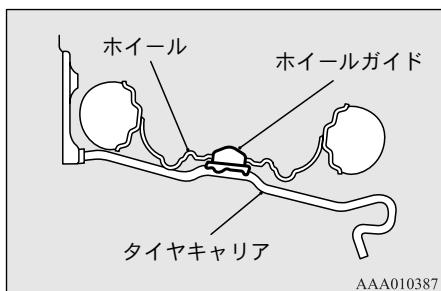


4. タイヤキャリアを持ち上げてホルダーから外し、下に降ろしてタイヤを取り出します。



## 格納するときは

1. ホイールの表側を下にしてホイール中央の穴をタイヤキャリアのホイールガイドに確実にはめます。

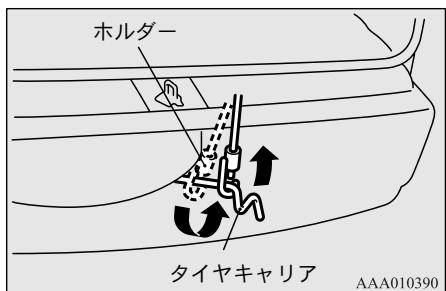


## ⚠ 注意

- タイヤキャリア取り付けボルトをゆるめすぎるとスペアタイヤが落ちるときがありますので確認しながら行ってください。

## もしものときの処置

2. タイヤキャリアを持ち上げてホルダーにかけます。

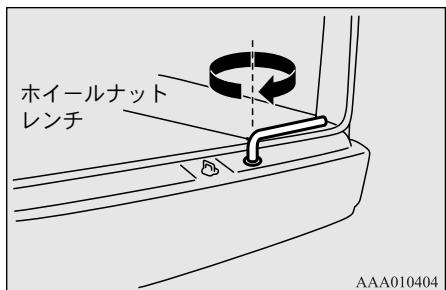


4. カバーを取り付けます。

### アドバイス

- タイヤキャリアは応急用スペアタイヤ専用のため、他のタイヤは格納できません。パンクタイヤは荷室に格納してください。
- スペアタイヤを手、または足でゆすってがたつかないことを確認してください。がたついているときはハンガーやホルダーの変形などが考えられますので、タイヤを車内に保管し、日産販売会社で修理を受けてください。

3. ホイールナットレンチを使用して、タイヤキャリア取り付けボルトを確実に締め付けます。



### △注意

- スペアタイヤを格納したあとは、タイヤキャリアが確実に固定されていることを確認してください。タイヤキャリアが固定されていないと走行中に脱落して思わぬ事故につながるおそれがあります。

## タイヤ交換のしかた

J01400901670

### ⚠ 注意

- ホイールの穴などに手をかけると、エッジだけがをするおそれがありますので手袋などをご使用ください。

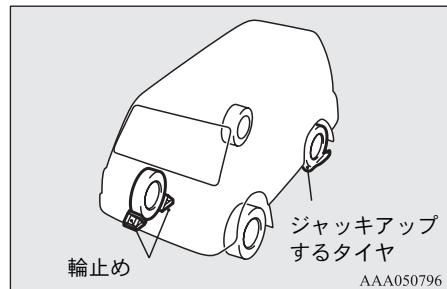
## タイヤを取り外すときは

1. 交通のじやまにならず、安全に作業できる平らで硬い場所に車を止めます。
2. パーキングブレーキを確実にかけます。
3. マニュアル車はエンジンを止めて、シフトレバーをRに入れます。  
オートマチック車はセレクトレバーをPに入れて、エンジンを止めます。
4. 必要に応じて非常点滅灯を点滅させ、人や荷物を車から降ろし、停止表示板（停止表示灯）を車両後方に置きます。

### BOOK アドバイス

- 停止表示板（停止表示灯）、輪止めは標準で搭載されておりませんので必要に応じて準備してください。

5. ジャッキアップするタイヤと対角の位置にあるタイヤの前後に輪止めをします。



AAA050796

### ⚠ 注意

- ジャッキアップするときは、必ず輪止めを使用してください。  
万一、ジャッキアップ中に車両が動いたとき、ジャッキが外れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### BOOK アドバイス

- 輪止めがないときは、タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

6. スペアタイヤ、工具およびジャッキを取り出します。  
→ 「スペアタイヤ」 P. 13-14  
→ 「工具とジャッキ、ジャッキハンドル」 P. 13-9

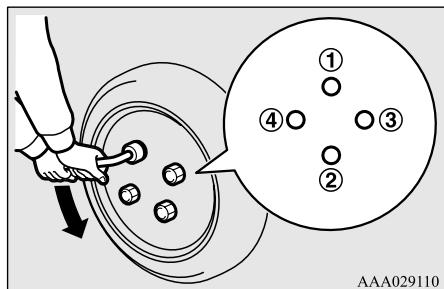
### BOOK アドバイス

- 取り出したスペアタイヤは、万一ジャッキが外れたときのため、ジャッキ近くの車体の下に置いてください。

7. ホイールカバー付き車はホイールカバーを取り外します。  
→ 「ホイールカバー」 P. 13-21

## もしものときの処置

8. 交換するタイヤに近い指定位置にジャッキをセットします。  
→「ジャッキアップのしかた」P. 13-12
9. ホイールナットレンチを使用して、ホイールナットを番号順に、手で回るくらいまで左に回してゆるめます。



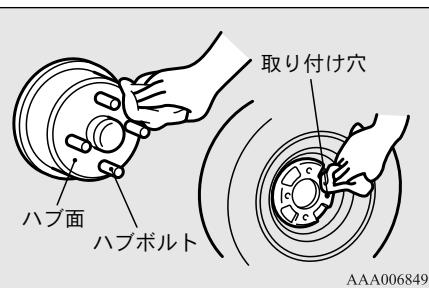
10. タイヤが地面から少し浮くまで静かにジャッキアップします。
11. ホイールナットを外し、タイヤを取り外します。

### アドバイス

- タイヤを地面に置くときは、ホイール表面を上にして置いてください。  
下にして置くと、ホイールに傷がつくおそれがあります。

## タイヤを取り付けるときは

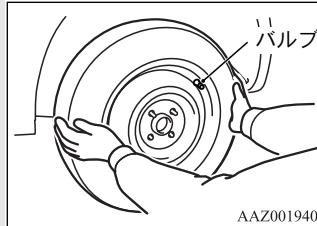
1. ハブ面、ハブボルトおよびホイール取り付け穴の汚れをきれいに取り除きます。



2. タイヤを取り付けます。

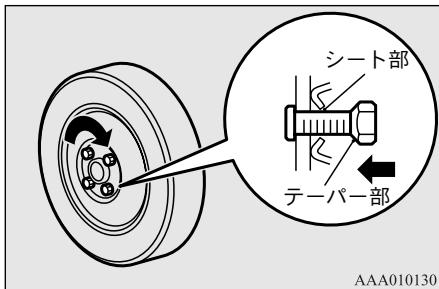
### 警告

- タイヤを取り付けるときは、タイヤの裏表に注意し、バルブが車体外側を向くように取り付けてください。取り付けた際、バルブが見えなければ、タイヤが裏向きに取り付けられています。タイヤの裏表を間違えて取り付けると、車両に悪影響をおよぼし、思わぬ事故につながるおそれがあります。



3. 手でホイールナットを右へ回して仮締めします。

ホイールナットのテーパー部がホイール穴のシート部に軽く当たり、タイヤががたつかない程度までホイールナットを仮締めします。



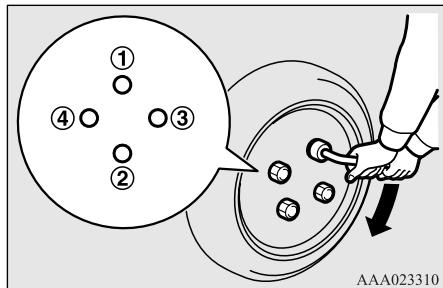
### ⚠ 注意

- ハブボルト、ホイールナットには油を塗らないでください。  
ねじ部、ホイールなどの損傷の原因になります。

4. タイヤが地面に接するまでジャッキを降ろし、ホイールナットレンチを使用して、ホイールナットを番号順に2~3回に分けて、徐々に締め付けます。  
最後の締め付けは、確実に行ってください。

締め付けトルク: 90~110N·m  
{9~11kgf·m}

(車載のホイールナットレンチの先端で  
390~460N {39~46kgf} の力)



### ⚠ 注意

- ホイールナットを締め付けるときは、  
ホイールナットレンチを足で踏んだり、  
パイプなどを使用して必要以上に  
締め付けないでください。

## もしものときの処置

5. ホイールカバー付き車はホイールカバーを取り付けます。  
→「ホイールカバー」P. 13-21
6. タイヤの空気圧を点検します。  
→「タイヤの空気圧」P. 14-9
7. 工具とジャッキ、ジャッキハンドルを元の位置に戻します。  
→「工具とジャッキ、ジャッキハンドル」P. 13-9
8. 交換したタイヤを荷室に格納します。

### △ 注意

- タイヤ交換後、走行中にハンドルや車体に振動がでたときは、日産販売会社でタイヤバランスの点検を受けてください。
- 指定サイズ以外のタイヤを使用したり、種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは、安全走行に悪影響をおぼしますので、避けてください。

### BOOK アドバイス

- タイヤ交換したときは、約 1,000km 走行後、再度ホイールナットを締め付けて、ゆるみがないことを点検してください。

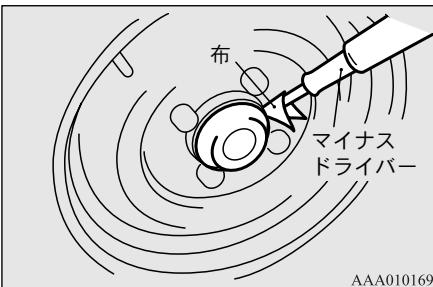
### センター キャップ

タイプ別装備

J01402900026

#### ◆ 取り外すときは

ドライバー（市販品）の先に布をかぶせてホイールとセンター キャップの間に差し込み、タイヤ側にこじてセンター キャップを取り外します。



#### ◆ 取り付けるとき

センターキャップを手でたたき取り付けます。

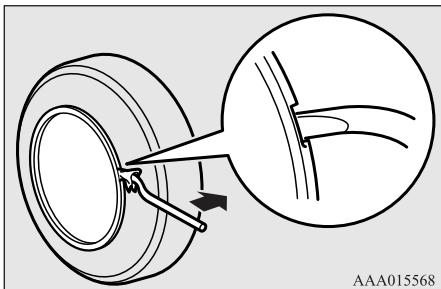
## ホイールカバー

タイプ別装備

J01402800490

## ◆取り外すときは

ホイールカバーレンチの先に布をかぶせて深く差し込み、タイヤ側にこじながら取り外します。

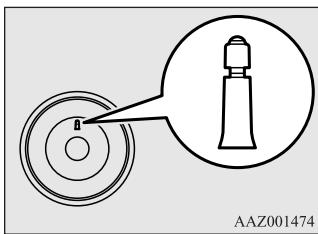


## ◆取り付けるときは

タイヤのバルブ（空気注入口）とホイールカバーのバルブ位置を合わせてから、ホイールカバーの周囲を手でたたき取り付けます。

## アドバイス

- カバー裏側にバルブ（空気注入口）の位置を示すシンボルがあります。



## バッテリー上がりのときは！

J01401001290

つぎのような状態をバッテリー上がりといいます。

- スターターが回らない。または、回っても回転が弱くてエンジンがかからない。
- ライトが点灯しない。または、点灯してもいつもより暗い。
- ホーンが鳴らない。または、鳴ってもいつもより音が小さい。



ブースターケーブル（別売）を使用し、他車のバッテリーを電源として、エンジンをかけることができます。

## 警告

- 救援車を依頼し、ブースターケーブルを使用してエンジンをかけるときは、取扱説明書に従って正しい手順で作業してください。取り扱いを誤ると、引火爆発や車両損傷のおそれがあります。

## アドバイス

- ブースターケーブルは、日産販売会社などでお買い求めください。

## もしものときの処置

1. ブースターケーブルが接続でき、かつ自車と接触しない位置に救援車を止めます。

### △ 注意

- 救援車は必ず12Vで、自車と同容量以上のバッテリーを装着している車を使用してください。

### アドバイス

- バッテリーは車体右後方の荷台下にあります。

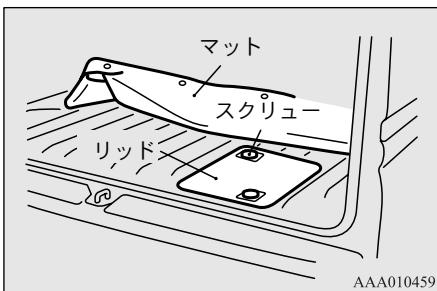
2. ライトやエアコンなど電装品のスイッチを切ります。

3. 救援車と自車のパーキングブレーキを確実にかけ、マニュアル車はシフトレバーを⑪、オートマチック車はセレクトレバーを⑫に入れ、エンジンスイッチをLOCKまで回してエンジンを止めます。

### △ 警告

- ブースターケーブルの接続時は、救援車のエンジンも止めてください。ケーブルや衣服などがファンやドライブベルトに巻き込まれて、けがをすることがあります。
- 冷却ファンはエンジン始動後、冷却水の温度により回転、停止をくり返します。エンジン運転中は、ファンに手を近づけないでください。

4. フロアマット付き車は、荷室のマットをめくりドライバーなどを使用してスクリューを取り外しリッドを開けます。



5. バッテリー液量を確認します。

### △ 警告

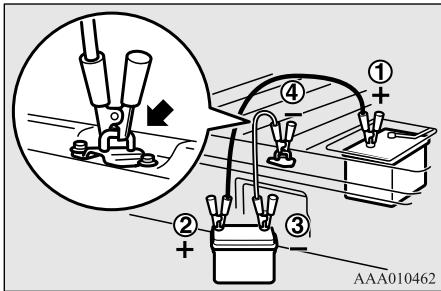
- バッテリー液量が下限(LOWER LEVEL)以下のままで使用しないでください。バッテリーの劣化を早めたり、発熱や爆発するおそれがあります。

### アドバイス

- バッテリー液の補給は別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

6. ブースターケーブルを図の番号順に確実に接続します。

- ① 自車のバッテリーの+端子
- ② 救援車のバッテリーの+端子
- ③ 救援車のバッテリーの-端子
- ④ 図で指示の箇所 (アースをとる)



### アドバイス

- バッテリーの+端子は、カバーを外してからブースターケーブルを接続してください。
- ブースターケーブルは、バッテリーの容量に適したものを使用してください。ケーブル焼損の原因になることがあります。
- ブースターケーブルに破損および腐食などの異常がないことを点検してから使用してください。

7. 接続したあと、救援車のエンジンをかけ、エンジン回転数を少し上げます。

8. 自車のエンジンをかけます。

9. エンジンがかかったら、ブースターケーブルを接続したときと逆の手順で取り外します。

### △警告

- 接続する順番は必ず①→②→③→④の順番で行ってください。
- ④の接続は必ずイラスト矢印の位置にしてください。バッテリーの一端子に直接つなぐと、バッテリーから発生する可燃性ガスに引火爆発するおそれがあります。
- ブースターケーブルを接続するときは、+と-端子を接触させないでください。火花が発生し、バッテリーが爆発するおそれがあります。

### △注意

- ブースターケーブルのクリップは、確実に接続してください。エンジン始動時の振動で外れると、ケーブルがファンやドライブベルトに巻き込まれ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## もしものときの処置

10. 最寄りのガソリンスタンドや日産販売会社でバッテリーの点検を受けてください。

## オーバーヒートしたときは！

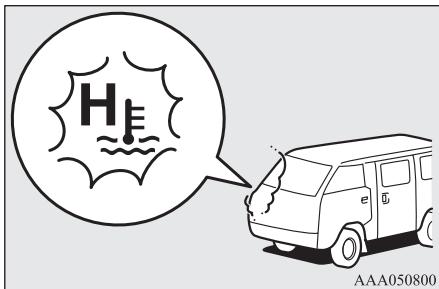
J01401101392

### △警告

- バッテリーを車両に搭載したまでの充電は、引火爆発や車両損傷の原因になることがあります。やむを得ず車両に搭載したまま充電するときは、バッテリーに接続されている車両側の-端子を取り外してください。
- 充電中はバッテリーに火気を近づけないでください。バッテリーからは可燃性ガスが発生しており、爆発するおそれがあります。
- 周囲の囲まれた狭い場所でバッテリーを充電するときは、換気を十分に行ってください。
- 充電するときは、すべてのキャップを取り外してください。
- バッテリー液は希硫酸です。皮膚についたり、目に入るとやけどや失明の原因になります。すぐに多量の水で洗い、速やかに専門医の治療を受けてください。

つぎのような状態をオーバーヒートといいます。

- 高水温警告灯が点灯したり、エンジンの出力が急に低下する。
- エンジンルームから蒸気が出ている。



AAA050800

### △注意

- 押しがけやけん引により、エンジンをかけることは行わないでください。特にオートマチック車は、マニュアル車と構造が異なるため、この方法ではエンジンはかかりません。

### アドバイス

- ABS 装着車は充電が不十分のまま車を発進させると、エンジンの回転むらが生じ、ABS 警告灯が点灯することがあります。  
→「走行中に警告灯が点灯したときは」  
P. 7-24

- 車を安全な場所に止めます。
- エンジンルームから蒸気が出ているかどうかを確認します。

[蒸気が出でないとき]

エンジンをかけたままでエンジン点検口を開け、エンジンルームの風通しをよくします。

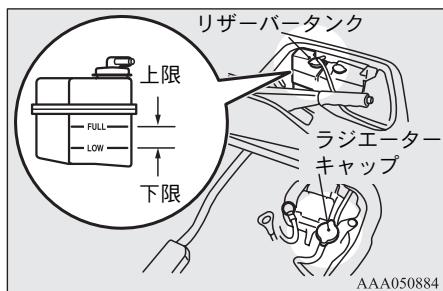
[蒸気が出でているとき]

エンジンを止め、蒸気が出なくなったら、エンジンルームの風通しをよくするためにエンジン点検口を開け、エンジンをかけます。

→「エンジン点検口」P. 4-14

- エンジンが十分冷えてから、冷却水の有無を点検します。

**除く、ターボ車**



**△警告**

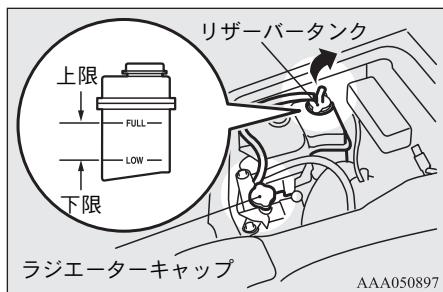
- エンジンルームから蒸気が出ているときは、エンジン点検口を開けないでください。蒸気や熱湯が噴き出し、やけどをするおそれがあります。蒸気が出でないときでも、熱湯が噴き出していたり、高温になっている部分がありますので、エンジン点検口を開けるときは注意してください。
- 冷却ファンに、手や衣服などを巻き込まれないように注意してください。

- 高水温警告灯が消灯したら、エンジンを止めます。

**アドバイス**

- 高水温警告灯が消灯しないときは、エンジンを止めて自然冷却します。その後、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

**ターボ車**



**△警告**

- 通常はラジエーターキャップを外さないでください。  
冷却水には圧力がかかっているため、冷却水の温度が高いときにキャップを外すと、蒸気や熱湯が噴き出し、やけどをするおそれがあります。

**アドバイス**

- 冷却水の補給は別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

## けん引

J01401200761

けん引はできるだけ専門業者に依頼してください。

つぎの場合は、日産販売会社にご連絡ください。

- エンジンが回っているのに車が動かない。または異音がある。
- 下まわりを点検し、オイルなどが漏れている。

また、車輪が溝などに落ちたときは無理にけん引せず、日産販売会社または専門業者に依頼してください。

## レッカー車に搬送してもらうとき

### △ 注意

- 2WD車で駆動系部品が故障したと思われるときは、必ず駆動輪（後輪）を持ち上げてけん引してください。
- 4WD車は、必ず2WD（後輪駆動）に切り換えてけん引してください。4WD（4輪駆動）のまま前輪または後輪だけを持ち上げたけん引を行うと駆動系部品が損傷したり、車がレッカー（台車）から飛び出しあるがあります。  
→「4WD車」P.7-18
- 2WD（後輪駆動）に切り換わらないときや、駆動系部品が故障したと思われるときは必ず4輪を持ち上げてレッカー車で搬送してください。
- オートマチック車で、駆動輪（後輪）だけを接地してけん引するときの速度は30km/h以下、けん引する距離は30km以内にしてください。この速度、距離を越えると、トランスミッションの故障の原因になります。

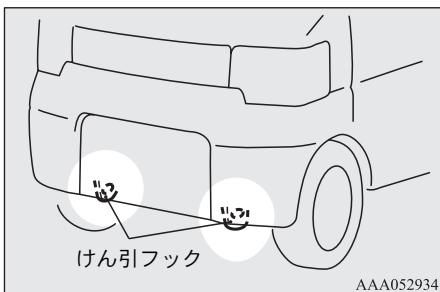
やむを得ず他車にロープでけん引してもらうときは、つぎの要領で行ってください。

## 他車にけん引してもらうとき

J01403901453

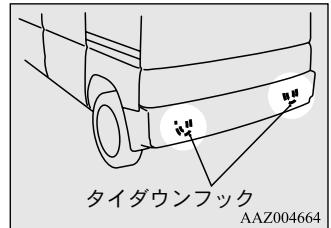
### △ 注意

- けん引ロープは必ずけん引フックにかけてください。



### △ 注意

- タイダウンフックは、車両を輸送するときに使用するものです。けん引には使用しないでください。けん引フック以外にけん引ロープをかけると、車体が破損するおそれがあります。



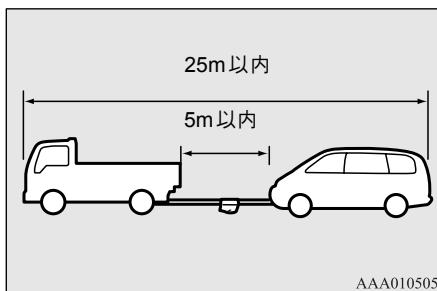
## アドバイス

- レッカー車による搬送は、別冊の「メンテナンスノート」を見て日産販売会社へ依頼してください。


**アドバイス**

- ワイヤーロープや金属製のチェーンなどを使用すると、車体などを傷つけるおそれがあります。ソフトロープを使用するか、車体にあたる部分のチェーンに布をまくなどして、けん引してください。
- けん引ロープは、日産販売会社などでお買い求めください。
- けん引ロープは水平にしてけん引してください。水平でない位置にかけると、車体を傷つけるおそれがあります。
- けん引ロープはできるだけ同じ側のフックにかけて、斜めけん引とならないようしてください。

1. けん引ロープをけん引フックにかけます。
2. けん引ロープには、30cm 平方（タテ30cm×ヨコ30cm）以上の白い布を必ずつけてください。



3. エンジンはできるだけかけておいてください。  
エンジンがかからないときは、エンジンスイッチを ACC または ON にします。

13

**△注意**

- エンジンが止まっているとブレーキの効きが非常に悪くなります。また、ハンドル操作が非常に重くなります。
- エンジンスイッチが LOCK 位置にあると、ハンドルがロックされハンドル操作ができなくなり、事故につながるおそれがあります。

4. シフトレバー（セレクトレバー）を Nに入れます。

5. 4WD 車は 2WD（後輪駆動）に切り換えてください。

→「4WD 切り換えスイッチ」  
P. 7-18

メーター内の 4WD 作動表示灯が消灯したのを確認してください。

→「4WD 作動表示灯」P. 7-19

**△注意**

- 4WD 車は、必ず 2WD（後輪駆動）に切り換えてけん引してください。

4WD（4輪駆動）のまま、前輪または後輪だけを持ち上げたけん引を行うと、駆動系部品が損傷するおそれがあります。

→「4WD 車」P. 7-18

- 2WD（後輪駆動）に切り換わらないときは、駆動系部品が故障したと思われるときは、必ず 4 輪を持ち上げてレッカーカー車で搬送してください。

6. 後続車に注意をうながすため、けん引される車は非常点滅灯を点滅させます。  
→「非常点滅灯スイッチ」P. 6-14

### バッテリー交換後にエンジン回転数が不安定になったときは！

J01401400327

#### △警告

- けん引される車のエアコンは、内気循環に切り換えてください。排気ガスが車内に侵入して、ガス中毒になるおそれがあります。

#### △注意

- けん引される車は、けん引車のブレーキランプに注意して、常にけん引ロープをたるませないようにしてください。
- 急ブレーキ、急発進、急旋回など、けん引フックやけん引ロープに大きな衝撃が加わるような運転は避けてください。けん引フックやけん引ロープが破損するおそれがあります。  
万一の場合、その破片が周囲の人などにあたり、重大な傷害をおよぼすおそれがあります。
- 長い下り坂では、ブレーキが過熱して、効きが悪くなるおそれがあります。レッカー車に搬送してもらってください。
- オートマチック車をけん引するときの速度は30 km/h以下、けん引する距離は30km以内にしてください。この速度、距離を超えると、トランスマッisionの故障の原因になります。

エンジン回転数が不安定になったときは、つぎの方法でエンジンの初期調整操作を行ってください。

1. 安全な場所に車を止めます。
2. マニュアル車はシフトレバーをNに、オートマチック車はセレクトレバーをPに入れて、エンジンを止めます。
3. 度、エンジンを始動します。
4. エアコンのすべての作動を停止します。
5. 低水温表示灯が消灯するまで暖機運転します。
6. エンジンを一旦停止し、再度エンジンを始動します。
7. 約10分間アイドリングします。
8. エンジン回転数が安定すれば初期調整操作は終了です。

#### BOOK アドバイス

- エンジンの初期調整操作を行ってもエンジン回転数が安定しないときは、日産販売会社で点検を受けてください。

#### 他車のけん引

J01404100237

この車で他車をけん引することはできません。

#### BOOK アドバイス

- 他車をけん引すると、車両が破損するおそれがあります。

## ヒューズが切れたときは！

J01401501093

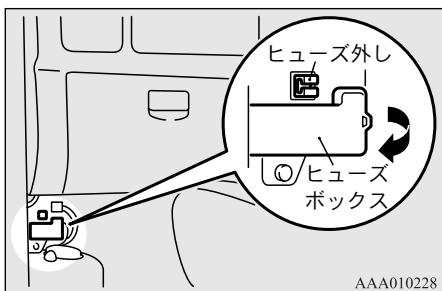
各種のランプが点灯しないときや、電気系統の装備が作動しないときは、ヒューズが切れていることがあります。ヒューズを点検し、切れているときは交換してください。

### アドバイス

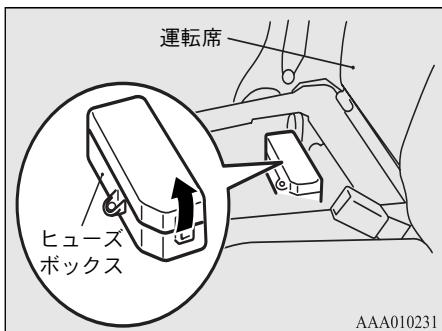
- 予備ヒューズは装備されておりません。日産販売会社などでお買い求めください。

## ヒューズボックスの位置

### ◆ グローブボックス下側



### ◆ エンジンルーム内



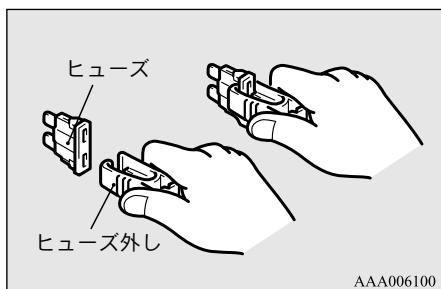
## ヒューズの交換

1. エンジンスイッチをLOCKにします。
2. 該当する装備を受け持つヒューズおよび容量を確認します。  
→「各ヒューズの受け持つ装備および容量」P. 13-30

### アドバイス

- 各ヒューズの受け持つ装備および容量は、ヒューズボックスのふたに記載しています。

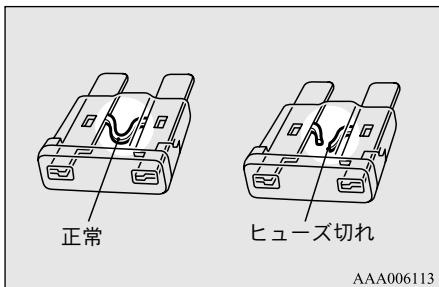
3. ヒューズ外しを使用してヒューズを引き抜きます。



## もしものときの処置

4. ヒューズを点検し、切れているときは同じ容量のヒューズと交換します。緊急でスペアヒューズがないときは運転に影響のないラジオやシガーライターなどのヒューズを代用してください。

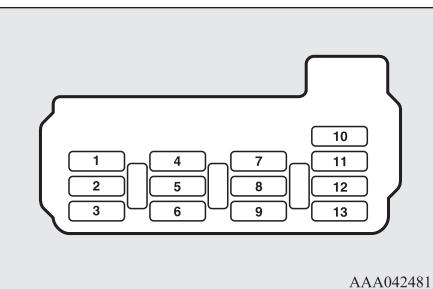
なお、ヒューズを代用したときは、なるべく早く新しいヒューズを補給してください。



## 各ヒューズの受け持つ装備および容量

J01403701510

### ◆ グローブボックス下側



NO.	表示	装備	容量
1	□	ドアロック	20A
2	●	室内灯 (ルームランプ)	10A
3	▽	ワイパー	15A
4	△	ヒーター	20A
5	—	—	—
6	◆	デフォッガー	15A
7	▲	シガーライター	15A
8	◎	後退灯(バックアップランプ)	10A
9	△△△	尾灯(テールランプ)	10A
10	△△	サンルーフ	20A
11	◆	コントロールユニットリレー	10A
12	□	ラジオ	10A
13	○	メーター	10A

### △警告

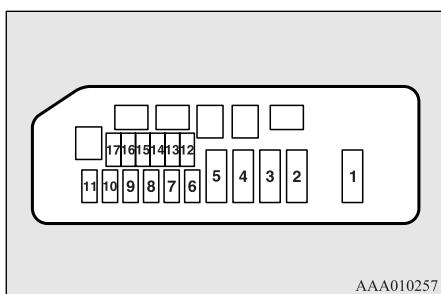
- 取り付けてあるヒューズと同じ容量のヒューズを使用してください。針金、銀紙などを使用すると、電線の過熱により火災のおそれがあります。

### アドバイス

- ヒューズを交換しても再び切れるときは、日産販売会社で点検を受けてください。
- ヒューズが正常で該当する装備が作動しないときは、他の原因が考えられます。すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

- 装備仕様の違いにより、ヒューズはない場合もあります。
- 上記の表は、各ヒューズの受け持つ主要な装備を表しています。

## ◆ エンジンルーム内



NO.	表示	装備	容量
16	☰○	ヘッドライト (上向き)(右)	10A
17	☱	ラジオ	10A

- 装備仕様の違いにより、ヒューズはない場合もあります。
- 上記の表は、各ヒューズの受け持つ主な装備を表しています。

NO.	表示	装備	容量
1	(AB)	ABS	60A
2	☞	イグニッション スイッチ	40A
3	■■	バッテリー	40A
4	▣	ラジエーターファン モーター	30A
5	■■	パワーウィンドウ	30A
6	◑	フロントフォグ ランプ	15A
7	✿	エアコン コンプレッサー	15A
8	△	非常点滅灯	10A
9	□	エンジン コントロール	20A
10	STOP	制動灯 (ストップランプ)	10A
11	▬▬	リヤヒーター	15A
12	▶	ホーン	10A
13	☰○	ヘッドライト (下向き)(左)	10A
14	☰○	ヘッドライト (下向き)(右)	10A
15	☰○	ヘッドライト (上向き)(左)	10A

## バルブ（電球）が切れたときは！

J01401600707

ヒューズが切れていないのにランプが点灯しないときは、バルブ（電球）が切れていることがあります。

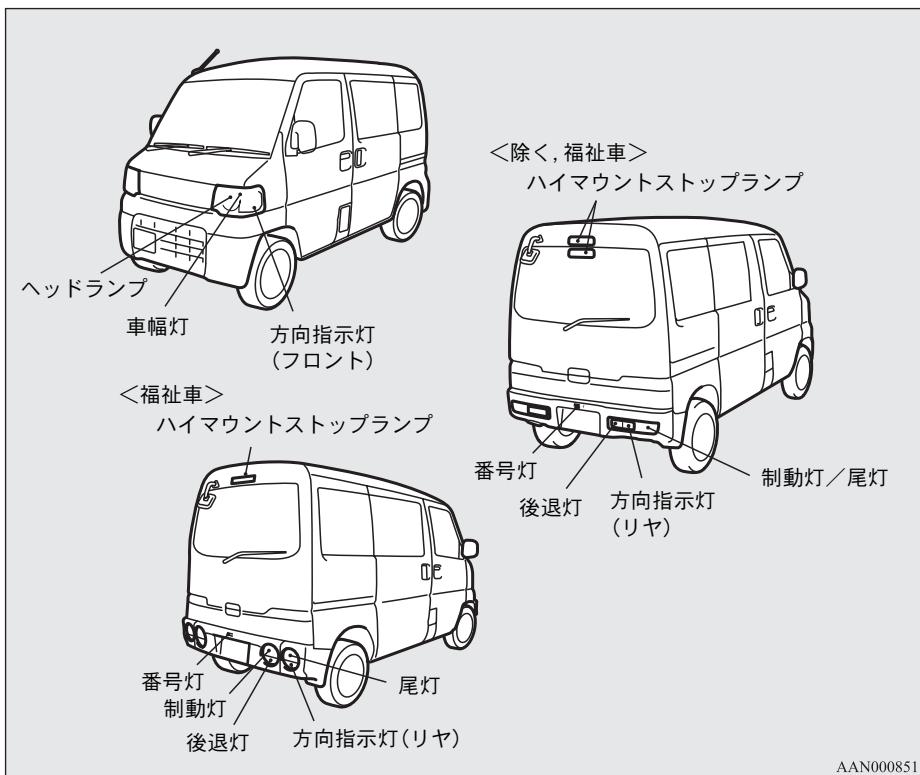
バルブ（電球）を点検し、切れているときは交換してください。

## バルブ（電球）のワット数

J01406800527

### ◆ 車外照明

J01406800528



ヘッドランプ		60/55W (H4)
車幅灯		5W (W5W)
制動灯／尾灯(除く, 福祉車)		21/5W (W21/5W)
制動灯(福祉車)		21W (W21W)
尾灯(福祉車)		5W (W5W)
後退灯		16W (W16W)
番号灯		5W (W5W)
方向指示灯	フロント	21W (PY21W)
	リヤ(除く, 福祉車)	21W (WY21W)
	リヤ(福祉車)	16W (W16W)
ハイマウントストップランプ(バルブ式)		16W (W16W)

- ( )内はバルブ (電球) の型式を示しています。

### アドバイス

- ハイルーフ車のハイマウントストップランプはバルブ (電球) ではなく LED を使用しています。修理・交換の際は日産販売会社にご相談ください。
- 福祉車の制動灯, 尾灯, 後退灯, 方向指示灯 (リヤ) のバルブ (電球) の交換は日産販売会社にご相談ください。

## ◆ 車内照明

J01406300334



ルームランプ [タイプ別装備]	8W
ラゲッジルーム ランプ [タイプ別装備]	8W

## バルブ（電球）の交換

J01401700867

ここではおもなバルブ（電球）の交換方法を記載しています。記載されていないバルブの交換については、日産販売会社にご相談ください。

- 該当するランプのスイッチを OFF にして、エンジンスイッチを LOCK にします。
- 該当するランプのワット数を確認します。  
→「バルブ（電球）のワット数」P. 13-32

## △注意

- 消灯直後はバルブの表面が高温になっているため、やけどをするおそれがあります。  
バルブの表面が十分冷えてから交換してください。

## アドバイス

- バルブを交換するときは、同じワット(W)数、同じバルブ色のものを使用してください。
- 新しく交換するバルブの表面に触れないでください。  
油などが付着すると、点灯したときの熱で蒸発して、レンズ内側が曇ることがあります。
- バルブの表面に触れたときは、乾いた柔らかい布で油をふき取ってください。
- ランプ本体やレンズを外すときは、車体を傷つけないよう十分注意してください。
- バルブを交換した後は、ランプが正しく点灯するか確認してください。
- 雨の日や洗車後などに、レンズ内側が曇ることがあります。  
これは湿気が多い日などに窓ガラスが曇るのと同様の現象で、機能上の問題はありません。  
ランプを点灯すると熱で曇りはとれます。  
ただし、ランプ内に水がたまっているときは、日産販売会社で点検を受けてください。

## ◆ ヘッドランプの脱着

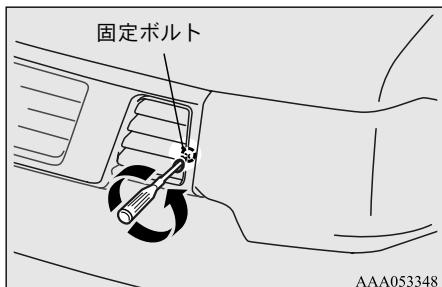
J01401901752

ヘッドランプ、車幅灯、方向指示灯（フロント）のバルブ（電球）の交換は、ヘッドランプ全体を車から取り外して行います。

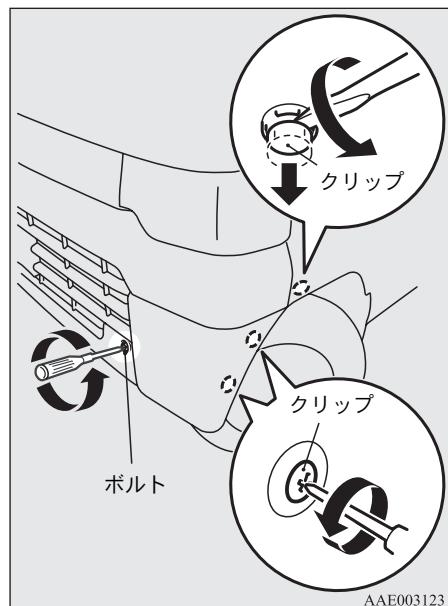
つぎの手順で取り外してください。

### 取り外すときは

1. 交換したいヘッドランプの反対方向側にステアリングホイールを一杯に回して作業スペースを作ります。
2. ヘッドランプの固定ボルトを、4回転程度ゆるめます。



3. バンパーを固定しているクリップ（3箇所）とボルトを取り外します。

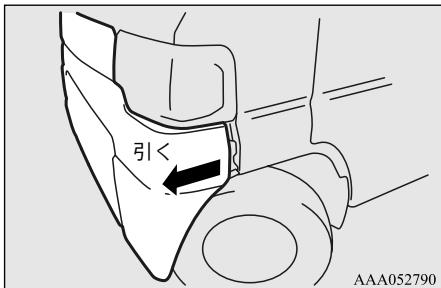


### アドバイス

- ボルトは必要以上にゆるめないでください。  
ゆるめすぎるとボルトが落下することがあります。

## もしものときの処置

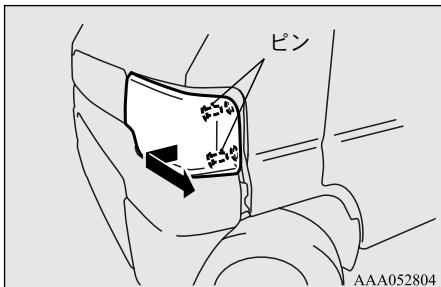
4. バンパーをゆっくりと引いてバンパーとフェンダーの結合部を外します。



### アドバイス

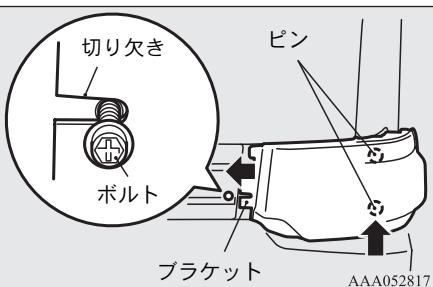
- 結合部を取り外すときは、周辺部品を損傷させないように注意してください。

5. ヘッドライトの外側を手前に引き、ヘッドライト裏側にある固定ピンを外します。そのまま、バンパーをめくりながらヘッドライトを車両の外側にずらして取り外します。

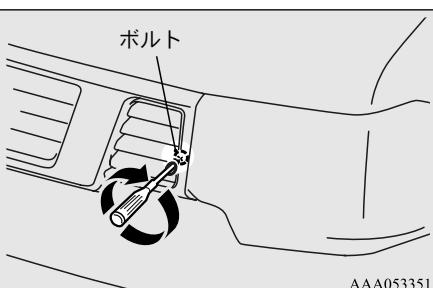


### 取り付けるときは

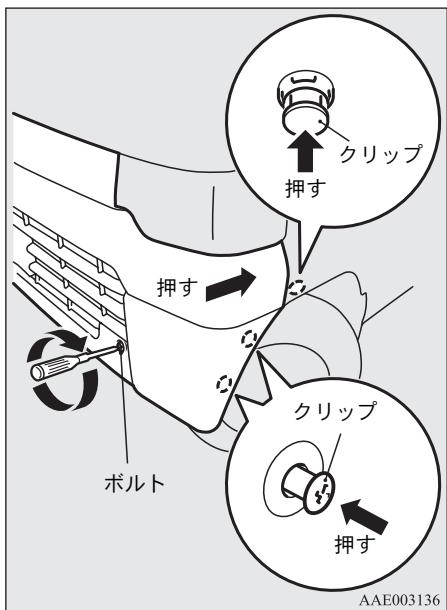
1. ヘッドライトの車両内側にある取り付けブラケットの切り欠きを車側に残してあるボルトに差し込み、ヘッドライト裏側にあるピンを固定クリップに差し込んで、ヘッドライトを取り付けます。



2. ヘッドライト取り付けボルトを確実に締め付けます。



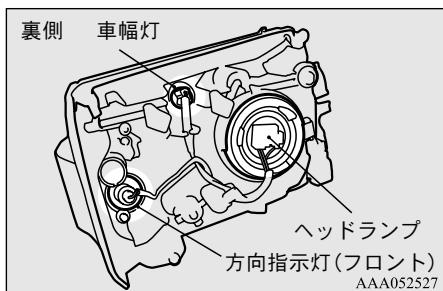
3. バンパーとフェンダーの結合部を押さえてはめ込んだ後、バンパー固定クリップとボルトで固定します。



## ◆ ヘッドライトのバルブ交換

J01407800091

各バルブの交換は、ヘッドライト裏側から行います。

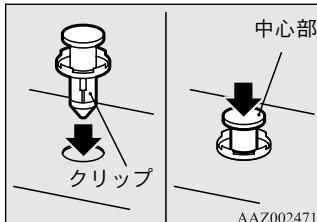


交換方法についてはつぎの項をお読みください。

- 「ヘッドライト」 P. 13-38
- 「車幅灯」 P. 13-39
- 「方向指示灯 (フロント)」 P. 13-39

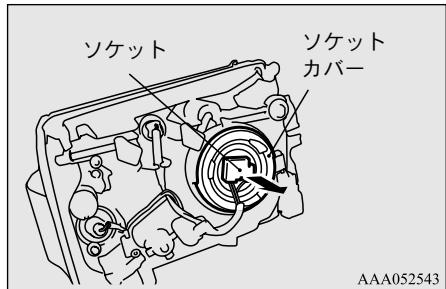
## アドバイス

- バンパー固定用クリップは、はじめにクリップを取り付け穴に差し込み、その後でクリップの中心部を押し込んで固定します。

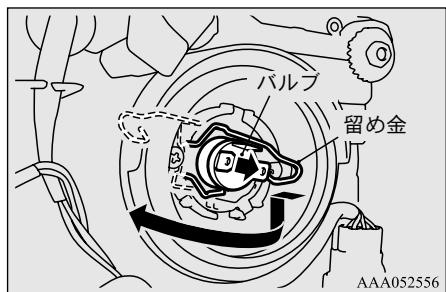


## ◆ ヘッドライト

1. ソケットを引き抜き、ソケットカバーを外します。



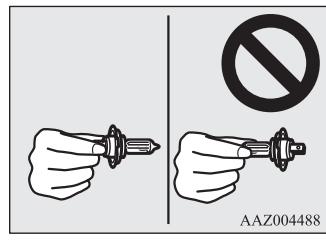
2. 留め金を外し、矢印の方向に引き起こして、バルブを抜き取ります。



3. 取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。

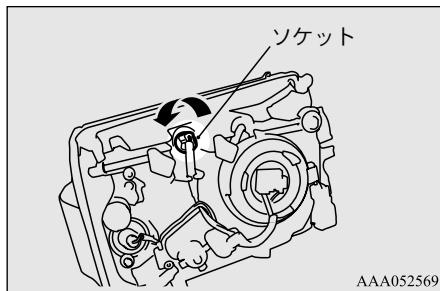
## △ 注意

- ハロゲンバルブは、バルブ内の圧力が高いため、落としたり、物をぶつけたり、傷をつけると破損して飛び散るおそれがありますので十分注意してください。
- ハロゲンバルブの表面に触れないでください。  
点灯中はバルブの表面が高温になるため、油などが付着すると、点灯したときの熱で破損するおそれがあります。  
バルブの表面に触れたときは、乾いた柔らかい布で油をふき取ってください。



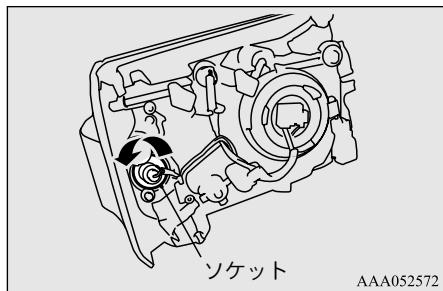
## ◆ 車幅灯

1. ソケットを反時計回りに回して外します。



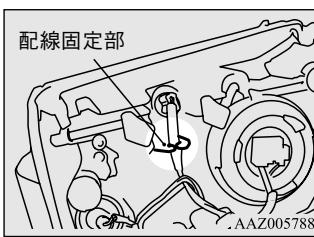
## ◆ 方向指示灯 (フロント)

1. ソケットを反時計回りに回して外します。



## アドバイス

- ソケットを外すときは、配線を配線固定部から外してください。バルブを交換したあとは、配線を確実に固定してください。

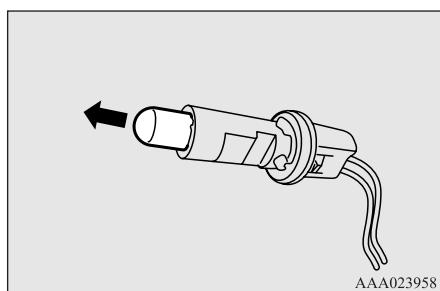


## アドバイス

- ソケットを外すときは、配線を配線固定部から外してください。バルブを交換したあとは、配線を確実に固定してください。



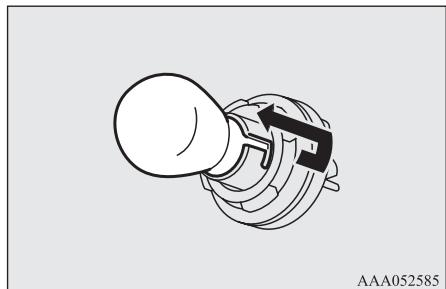
2. ソケットからバルブを引き抜きます。



3. 取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。

## もしものときの処置

2. バルブを押し込みながら反時計回りに回して外します。



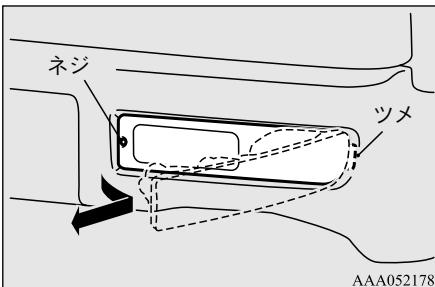
3. 取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。

## ◆ リヤコンビネーションランプ

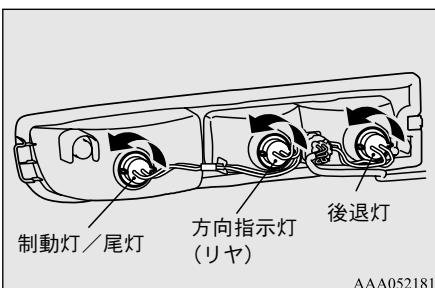
J01403000734

### 除く、福祉車

1. ネジを外して、ランプ本体を手前に引き出し、ツメを外しながらランプ本体を取り外します。

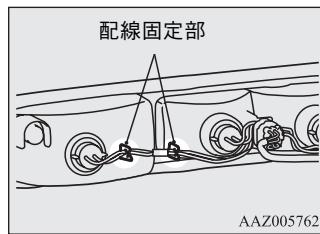


2. ソケットを反時計回りに回して外します。

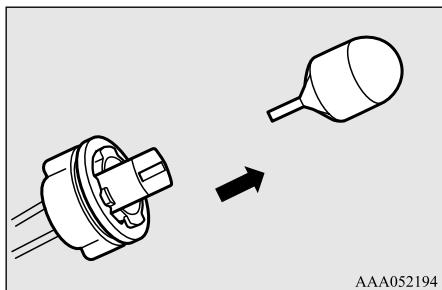


### アドバイス

- 制動灯／尾灯のソケットを外すときは、配線を配線固定部から外してください。バルブを交換したあとは、配線を確実に固定してください。



3. ソケットからバルブを引き抜きます。



4. 取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。

### 福祉車

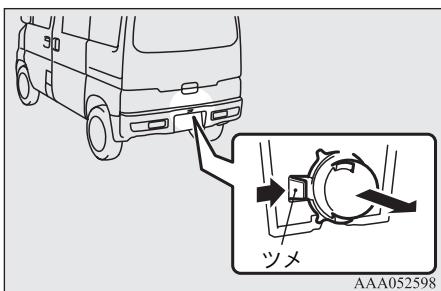
#### アドバイス

- 福祉車のバルブ（電球）の交換は、日産販売会社にご相談ください。

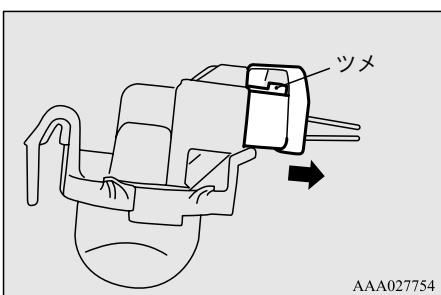
### ◆ 番号灯

J01402600687

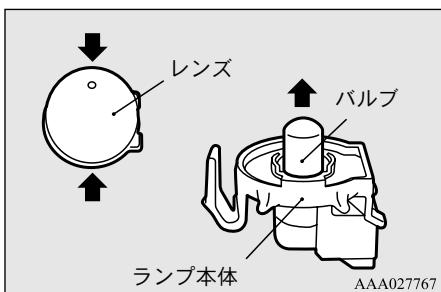
1. ツメを押しながら、ランプ本体を取り外します。



2. ツメを押しながらソケットを引き抜きます。



3. レンズの両端を押しながらレンズをランプ本体から外し、バルブを引き抜きます。

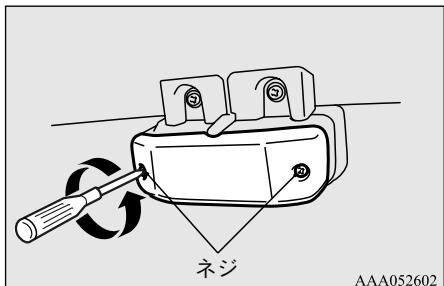


4. 取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。

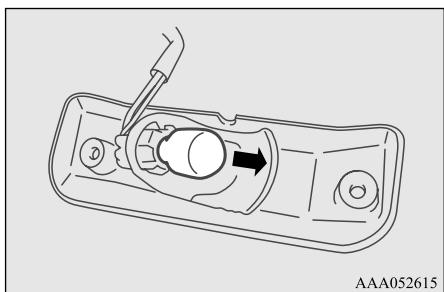
◆ ハイマウントストップランプ  
(バルブ式)

J01402700558

1. ネジ（2箇所）を外してカバーを外します。



2. ソケットからバルブを引き抜きます。



3. 取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。

13

 アドバイス

- ハイルーフ車のハイマウントストップランプはバルブ（電球）ではなくLEDを使用しています。修理・交換の際は日産販売会社にご相談ください。